

公表:令和 6 年 3 月 11 日

事業所名 スクラムプラス 伊那校第1教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・限りのあるスペースですが、工夫をしながら使用しています。 ・曜日や時間帯により、利用が集中するときは受け入れの調整が必要な時があり、利用希望に添えないケースもある。 引き続き利用者の安全を第一に、可能な限り多くの受け入れができるよう努めます。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・子どもたちの支援に必要な職員数を配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			・子供たちの生活空間は、療育スペースと休憩スペース、お手洗いと区切り、シンプルでわかりやすい環境となっております。 ・情報伝達等に関しても、わかりやすい文字や絵を使用するなどし、適切な配慮に努めています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			・各スペース毎に必要なものを整頓しており、活動に集中できる様配慮しています。 ・衛生面にも細心の注意を払い清掃・消毒を行い、清潔を保つよう努めています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・業務の問題点や改善が必要な事項を、週次のミーティングで共有し、その改善に向けた取り組みと見直しも、全職員で行っています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・放課後等デイサービスガイドラインに基づき、保護者等向け放課後等デイサービス自己評価を実施し、業務改善に努めています。 ・日々、保護者の意見に真摯に向き合うよう努め、業務改善につなげています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・グループ本部のホームページにて公表しております。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・今後は必要に応じ、第三者機関に評価を依頼するなど、検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・事業所にて年間研修計画を定め、計画的な社内研修を行っております。また、外部研修へも積極的に参加しています。 今後も、施設の実状にあった意義のある研修の実施に努めます。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			・利用開始時とモニタリングにて定期的にアセスメントを実施し、支援計画の作成を行っています。 ・利用者本人と保護者両方と対話し、どちらか一方のニーズに偏らないよう努めています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			事業所で定めるアセスメントシートを用い、アセスメントを実施しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			・児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に即した支援内容を設定しています。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			・個別支援計画に沿った支援を行い、見直しが必要な場合は相談支援専門員と連携し対応に努めています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・定例ミーティング等にて、担当の職員だけでなく、職員一人一人の見かたや意見を参考に活動プログラムを考えています。利用者個別の支援目標や進め方の共有に取り組んでいます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・子どもそれぞれの好きなことや、得意なことに偏りがちになる傾向にあるので、様々な観点からプログラムを作るよう努めています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			・施設の上、一日における集団活動と個別活動の割合が、利用する曜日により偏っており、子どもによっては個別活動が主になっているケースもあります。今後は様々な場面で多様な関わり合いが出来るよう、考えていきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に朝礼を行い、当日の支援内容や送迎等、必要事項の打合せを行っています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・支援終了後、支援記録作成の際に当日の振り返りを実施し、適宜情報共有をしておりますが、時間が足りないと感じる場面もあります。今後は、振り返りと共有の時間を、一日の業務のなかにしっかりと規定化できるよう努めたいと思います。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・当日の支援記録や日々の関わりの中での気づき等、様式を定め記録しています。次回の支援開始前はそれをもとに打合せをするなど、検証・改善に努めています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・概ね6か月に1度モニタリングを行い、定期的な見直しを行っております。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・出席者の選出は、児発管・管理者・担当職員と話し合い、適任者を決めております。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか			○	・現状、関係機関等との連携した支援はできておりません。今後は必要に応じ、連携を図れるよう体制を整えるよう努めます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			○	・現在当事業所において、医療的ケア児の受け入れ体制は整えておりません。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	・現在当事業所において、医療的ケア児の受け入れ体制は整えておりません。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○	・当事業所において、まだそのケースが無い為前例はないが、必要に応じ情報提供ができるよう想定しております。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○	・当事業所において、まだそのケースが無い為前例はないが、必要に応じ情報提供ができるよう想定しております。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・障がい者総合支援センター等が主催する、研修会や連絡会に積極的に参加しています。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	・現状活動機会はありません。今後は子供たちや保護者のニーズを聞き取り、必要に応じ検討していきます。

	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		・実状、参加の意思はあるが、積極的な参加は出来ていません。今後も可能な限り多くの参加ができるよう、人員や時間の調整に努めます。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・その日の様子など、送迎時や連絡ツールを利用して報告をし、必要に応じ保護者面談の機会を設けるなどし、共通理解も持つよう努めています。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか			○	・現状ペアレント・トレーニング等の支援実績はありません。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・利用契約時に説明をさせていただいております。また必要に応じ、随時職員から説明をさせていただく様にしております。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			・支援開始前と定期モニタリングの際に、個別支援計画の説明と支援内容の確認を行い、保護者の同意を以って成案としております。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・相談があった際は適切な助言と支援に努めております。今後も引き続き、相談しやすい環境や関係づくりに努めます。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・現状保護者会等、保護者間での連携はできておりません。今後は必要に応じて検討を重ねたいと思います。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情対応窓口、担当者、第三者委員会を設けており、契約時に説明をしております。ご意見があった場合は、迅速かつ適切な対応に努めています。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・必要に応じ、お便りや連絡ツールを利用し発信しております。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			・個人情報の保持と保護に関しましては契約時に説明させて頂いた上で、メモ等の適正破棄・鍵付き書庫での保管等、適切な取扱いに努めています。
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・それぞれの特性の理解に努め、当日のスケジュールを確認しながら決めたり、予め伝えておくなど、ひとり一人に合わせた意思の疎通・情報伝達に努めます。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・現状はそのような行事等は実施できておりません。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			・各対応マニュアルは策定しており、読み合わせ等により職員にも周知しております。 ・保護者への周知と、より施設状況に合わせたマニュアルの策定を課題とし、見直しに努めます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・市の危機管理課より出張いただき防災教育の講義を行ったり、地震災害の避難訓練を実施しています。今後については定期的な災害訓練の実施を継続するとともに、保護者を含めた情報伝達訓練や引き渡し訓練の実施が課題です。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			・利用開始時に保護者への聞き取りを実施しております。また、体調変化や服薬状況に変化があった場合は、都度情報伝達に努めています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			・利用契約時に保護者から聞き取りにて把握対応しております。また、飲食などの提供がある際はあらかじめ保護者にご案内し、都度の対応をしております。 ・今後、飲食の機会を増やすなどがあれば、検討したいと思います。

④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所の定める様式にて作成し共有しています。
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・管理者、児発管による障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成研修の受講、それをもとに職場内研修を行っております。 また、運営法人にて虐待防止委員会を設置し、定期的な委員会の開催と研修を行っております。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		・現状、身体拘束が必要であるとの判断の児童はおりませんが、今後検討が必要な児童がいる場合には、行政・相談支援専門員など外部の関係者も含め協議し、ご本人とご家族への十分な説明と同意を得たうえで、児童発達支援計画に記載します。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。